

目標達成計画

作成日: 平成 30年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営推進会議の出席率が低く、委員自体も少ない。	自治会長と民生委員の出席率の向上と、新たな委員の開拓を行う。	①自治会長や民生委員の方の出席を活発にする為、案内文だけではなく、電話や、直接会って、それぞれ関心のある話題を持ってきて頂けるよう依頼する。 ②新たな地域代表委員の開拓の為、挨拶回りを行う。	12ヶ月
2	18	入居者自身が出来ることを観察し役割を持って生き活きと生活していただけるような関係性を全職員が構築できていない。	全職員が入居者の状況を正しく把握しケアを実践できるようにPDCAサイクルを学ぶ。	①PDCAサイクルの勉強会を定期的実施し、職員全体のスキルアップを行う。	12ヶ月
3	19	来訪が少ない家族への積極的介入が少なく、共に本人を支えていく関係を築けていない。	来訪が少ない家族にも本人を支える関係を築いて頂く。	①家族と本人の関係性が途絶えないように毎月行事を行い、家族への参加呼びかけを行う。 ②本人のケアについて施設が悩んでいることをタイムリーに家族に相談を行う。	12ヶ月
4	40	食事の楽しい会話が少ない。	介助を行う職員は楽しく食事をして頂く工夫をする。	①食事の内容を伝え、食材によって季節の話題などを盛り込むようにする。 ②会話が弾むようなメニューを行事ごとに企画し、職員も一緒に食べる機会をつくる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。